

公益財団法人日本消防協会から寄贈された 消防団防災学習・災害活動車両の活用事例について

このことについて、令和3年2月に寄贈された車両の活用事例を公益財団法人日本消防協会に報告するものです。

消防団名：熊本県 八代市消防団（令和3年度交付）
1 消防団防災学習・災害活動車両を活用した防災訓練等について
令和4年八代市総合防災訓練 日 時：令和4年10月2日（日）8時30分～12時15分 場 所：球磨川河川敷 対象者：市・国・県・関係団体 ※全28団体（約350名）
2 防災訓練等の内容について
市総合防災訓練において地震により複数の建物火災発生を想定した消防本部及び消防団による車両及び消防職団員連携による消火訓練を行った。消防団防災学習・災害活動車両は火災現場への先着隊として消防団幹部の出動と、現場到着後は指揮所として初期消火を行う消防団の指揮を執った。
3 特記事項（この車両を活用するにあたって工夫したことなど。）
コロナ禍で各種訓練等も中止となる中、消防団防災学習・災害活動車両を訓練参加者に広くPRすることができた。今後は、消火活動のみならず救助活動を想定した訓練など、これまでの消防団資機材では実施できなかった訓練も企画することができ、消防団員の更なる技術習得にもつながると考えている。

